

★瀬着きのアジ狙いは30〜35センチ級の良型がそろった



▲アジは身に厚みがあり脂の乗りも上々
▶食いが立つとダブルも



▲このサイズが数尾上がれば刺身やフライをたらふく味わえる



▶アタリがきても慌てずに食い込みを待ち、竿が大きく引き込まれたらしっかり合わせよう

★青物の当日最大は4.5キロのフラサだったが、10キロに迫るブリも上がっている



▲落とし込み釣りのベイトは15センチ前後のアジ

◀今日の釣り場は城ヶ島〜三戸浜沖、水深65〜80メートル前後
▼カンパチの当日最大は1.8キロ

落とし込みでフラサ・カンパチ アジ釣りでお土産バツチリ

三浦半島葉山あぶすり港出船 撮影●本誌編集部



▲マトウダイも釣れた



◀青物がダブル、トリプルで食ってくることも

フラサやイナダ、カンパチなどの青物がアジのポイントに回遊するこの時期、三浦半島葉山あぶすり港の愛正丸で人気を博すメニューが「落とし込み&アジ五目リレー船」だ。



●イナダは1〜1.5キロ級主体



●今冬はカンパチが上がる率が増えている



●カンパチは1.5キロ前後がアベレージ

愛正丸の落とし込み&アジ五目のタックル&仕掛け



ピシアジ仕掛け (アジ用)
●アジ用はおなじみのハリス2号2本バリ仕掛けをサービス、オモリ130号のホリピシもしくはアンドピシとテンピンは無料貸し出し



●当日はピシアジ用のワンタックルで楽しむ人が多かった



落とし込みサビキ仕掛け (青物用)
●道系の先端からコマセカゴ、サビキ仕掛け(船で販売=500円)、オモリ120号の順で付ける。コマセカゴとオモリは無料貸し出し(紛失時は有償)



▲サビキ仕掛けのハリにアカタンを付けるとベイトの食いがアップする



◀コマセはイワシミチ、付けエサはアカタンが配られる

同船はピシアジ用のタックルとイワシミンチのコマセを使い、仕掛けだけを交換してアジと青物などを楽しめる手軽なスタイル。取材日の前半は落とし込みサビキでワラサやイナダ、カンパチなどが取り込まれ、転進後のアジ狙いではおなじみのピシアジ仕掛けで

30〜35センチ級の良型が釣れ上がり、ぎやかな一日となった。パワフルな青物と手堅いアジをセツトで楽しめるリレー乗合は期間限定で例年2月ごろまでがチャンス、釣行はお早めに！
(詳細は52ページ参照)



●三浦半島葉山あぶすり港・愛正丸 飯田 孝弘船長